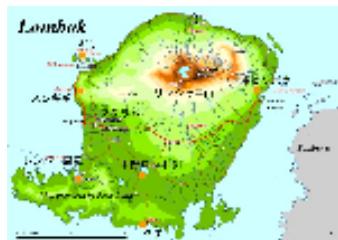


バリ&ロンボク・レポート

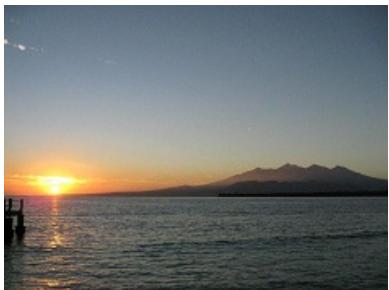
<http://www.h2.dion.ne.jp/~gilimeno/>

第32号 2012年10月発行



このレポートは、1回ごとにバリおよびロンボクから交互に報告させていただきます。

今回はロンボクからで、以前にも一度レポートさせていただきましたが、ロンボク島・最高峰で活火山のリンジャニ山関連情報です。最近の火山としての活動は、1990年代に小規模噴火が数回あったのですが、最近は落ち着いています。



ギリ・メノからの朝日に浮かび上がるリンジャニの雄姿



バンサル港近辺の船の中から見たリンジャニ山

右上の地図でもお分かりの通り、リンジャニ山はロンボク島の北部の中心部にそびえており、その山体はロンボク全島（総面積は約4,739km²）の約3分の1を占めています。標高は3,726mで日本の富士山よりわずか50m低い山です。山の中心から周囲にかけてなだらかな傾斜が続き、特に中南部一帯には平地や丘陵が多く、リンジャニ山を水源とした多くの川があるため、ロンボク中央部には豊かな農業地域が広がっています。

リンジャニとは古いジャワの言葉で「神」を表し、ロンボク先住民のササック人には靈峰として精霊信仰の対象となっていました。

リンジャニ山周辺には多くの景勝地があり、トレッキングツアーが数多く企画されています。

登山に適した時期はインドネシア乾季の6月～10月ごろがお勧めです。アクセスは山の東にあるスンバルン・ラワン村か、北側のスナル村からのトレッキングルートが一般的ですが、北ルートの方がコバルト・ブルーのスガラ・アナッ湖と、そこに1990年代の小噴火後に出現したバル山とがリンジャニ火口環からよく眺められ、本当に素晴らしい絶景の一言です。

ロンボク島は熱帯地域にあるので年中暑いのですが、バリ島同様に高い山のリンジャニ山があり、高原地域も広がっていて、暑いことが苦手の方々には、涼しいこちらで長期に過ごすことも可能です。

でも、バリ島同様に開けている場所は海岸沿い地域になりますので、ちょくちょく買い物に出掛けたい方々には高原地域は不便です。

涼しい高原平野のスンバルン地区には、長期に滞在している欧米人や日本人の方々も最近見かける状況です。

リンジャニ山へのトレッキングツアーだけでなく、高原地域への一日ツアーも最近は盛んになってきており、少しずつ開けつつあります。



リンジャニ山への東ルートの峰から見降ろした高原地域のスンバルン地区



北ルートの火口環から見たスガラ・アナッ湖とバル山。左上がリンジャニ山頂

★マリーン・スポーツが満喫できるギリ・メノ & Casablanca にぜひお越しください★

<http://www.h2.dion.ne.jp/~gilimeno/> Casablanca のお問い合わせは、shimaint@r4.dion.ne.jp ^